

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、ダニ媒介感染症で診療歴がある患者さんへ

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

“本学・関連施設におけるダニ媒介感染症の臨床的特徴の後方視的検討”

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座 准教授 田村志宣

3. 研究の目的

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに咬まれることによって起こる感染症のことです。人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入り、ダニに咬まれることで、病気を発症します。ダニ媒介感染症には、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、つつが虫病、日本紅斑熱、ダニ媒介脳炎、クリミア・コンゴ出血熱、回帰熱などが含まれます。和歌山県では、これまでに、ダニ媒介感染症として、SFTS、つつが虫病、日本紅斑熱などが報告されています。

SFTS、つつが虫病、日本紅斑熱の臨床像は、それぞれ異なり、SFTSは致命率が高く有効な治療法がないですが、リケッチア症は抗菌薬治療が有効であるため、予後と治療の観点から鑑別がとても重要になります。本研究では、和歌山県で発症するダニ媒介感染症の臨床像を過去の診療録（カルテ）より詳細に検討することで、適正な治療指針の確立に役立てたいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2013年10月1日から2022年9月30日の期間中にSFTS、つつが虫病、日本紅斑熱で診療された患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの背景、SFTS・つつが虫病・日本紅斑熱に関するデータ、初診時からの血液検査結果、画像検査、病気の進行状況、治療介入の時期などに関する情報です。

(3) 方法

診療録（カルテ）より、患者さんの背景、SFTS・つつが虫病・日本紅斑熱に関するデータ、初診時からの血液検査結果、画像検査、病気の進行状況、治療介入の時期などを抽出し、データベースを作成する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

今回利用した情報については、論文発表後 10 年間で当科医局内の鍵のかかったロッカーで保管し、その後、本学に規定に沿って、廃棄いたします。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 研究資金と利益相反

本臨床研究は、当科の講座研究費を資金源とします。通常診療の中で得られた診療情報を利用するため、患者さんの経済的負担は一切ありません。

本研究に関わる研究責任者と研究分担者について、開示すべき利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 救急・集中治療医学講座 担当医師 田村 志宣

TEL : 073-441-0665 FAX : 073-441-0653

E-mail : stamura@wakayama-med.ac.jp